

ヘブル人への手紙 第13章 8節

「イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。」

酷暑の季節にあって、大都会はヒートアイランドと言われるほど暑さに拍車がかかる。それを避けようと冷房の勢いがますます強くなる。室外機から放出される熱気はさらに街を熱くする。それに、滑らかに舗装された大通りが反射する熱は外気をはるかに凌ぐ熱波となる。この暑さを避けるように人々は海へ、野山へ移動する。そこには異なった風が吹いている。時折吹き抜ける涼しい風にほっとする。

場所が変わればまるで違う世界がある。海沿いや山間での風は都会では経験することがないものである。ところ変われば暑ささえ十分凌げる。しかし、移動がかなわない人たちもいる。同じ場所で、いかなる気候でも生活し厳しい風と向き合う。

場を変えることができる者、それがかなわない者、いずれにも共通する険しいことがある。それは人生の天気である。ときに心身ともにのしかかる人生の重荷や困難である。これは海に、山に、都会に、どこにしようとも迫る。だから、どのようなときでも、どのような場所でも、どんな日々にあっても、同じです、と告白できるのは幸いである。主イエス・キリストを告白する者は幸いである。

2023年8月29日